

10月13日に意見交換会

串本町議会 一般質問 最終処分場問題で実施決まる

串本町議会（橋爪和雄議長、17人）の一般質問は27日、2日目に質問は27日、2日目に



川勝昇議員



角将範議員



椿谷勲議員



漆畑繁生議員

など山積する課題に向
け、松原繁樹町長の姿
勢をただす質問が相次
ぎ、厳しい行財政の課
題にも焦点が当たった。

最終処分場問題では
同町議会と紀南環境整
備公社による意見交換
会が10月13日（土）午
後1時30分から錦富小

学校体育館で開かれる
ことが決まった。意見
交換会は議会と公社が
主催する。一般の傍聴
は自由。
椿谷議員は意見交換
会の開催にふれ、松原
町長の立場を聞いた。
公社の理事でもある町
長は「町議会の反対の
意見、住民の反対の署
名について従来にも増
して重く受け止めてい
かないといけないと思
う」と心境を述べるに
とどめた。

第2次市町村合併で
は川勝議員が取り上げ
松原町長は「合併して
2年あまり。十分な総
括がなされていない。
町民から合併の賛否の
声は届いてないが、低
調という受け止め方を
している」と答え、町
議会、町民の意見を踏
まえた上で慎重に判断
するといつれまでもと
変わらないスタンスを
示した。川勝議員はし
尿処理新施設建設が有
田区に反対されたこと

にも触れ、「有田区は
約束を守ってもらって
いうのが主張。覚え書
きに含まれていた約束
ことが忘れられていた
のではないか。これま
で誠意が欠けていた」
と指摘。松原町長は
「深く反省しなくては
ならない。次の場所へ
行く際にも大切なこと
だ。再度洗い直しをし
たい」と答えた。
町財政の側面からは
角議員が合併後、町は
人件費を減らしたと公

言しているが、一般職
と管理職の中間に位置
する専門員の人数が16
人から50人に増えてい
ることをあげ、「正反
対の方向へ向かってい
る」と厳しく指摘した。
漆畑議員は土地開発公
社が抱える7億円を超
える借り入れに焦点を
あてた。売却が進まな
い土地はいわゆる「塩
漬けの土地」だとし、
町の対処をただした。

公社の理事長でもある
松原町長は「妙案がな
い。皆さんの知恵を借
り、マイナスを少しで
も減らしたい」と回答。
漆畑議員は新病院建設
計画など華やかに見え
る合併だが、「負」の
部分を解決しようとし
ていないとし、「先送
りは負債を増やすだけ。
抜本的な解決策として
公社の解散を考えるべ
きだ」と主張した。